

TAU TIMES



東京有明医療大学 OPEN CAMPUS 2020

オープンキャンパスでは、鍼灸学科・柔道整復学科・看護学科で学ぶ楽しさを体感してもらうために、様々なプログラムをご用意しています。入学後の自分の姿をシミュレーションしてみませんか？

オープンキャンパスの日程

6/7 (日) 6/21 (日) 8/16 (日) 9/20 (日) 10/18 (日)

※開催日程は変更する場合があります。WEBサイトの最新情報を必ずご確認ください。

プログラムの一部をご紹介します

大学案内・学科紹介

入学者選抜制度やカリキュラムなど、大学全体に関する説明を行います。また、各学科の紹介も行い、資格取得のための勉強方法や医療業界で働く魅力などの話を聞くことができます。

キャンパスツアー

大学の様々な施設や設備を在学生が案内します。大学の雰囲気を知っていただき、具体的な学生生活をイメージしてみてください。

模擬講義

実際に大学で行っている授業を体験できます。鍼灸学科、柔道整復学科、看護学科の各学科で行っている専門的な講義内容を体験してください。

個別相談コーナー

実際の授業や就職支援など、教員や在学生に気軽に質問できます。また、奨学金の相談や大学周辺の下宿相談コーナーもあります。

〒135-0063
東京都江東区有明2丁目9番1号

- りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩 13分
- りんかい線「東雲」駅下車徒歩 13分
- ゆりかもめ「有明テニスの森」駅下車徒歩 10分
- 東京メトロ有明線「豊洲」駅下車
→ 都営バス 10分「有明小中学校前」
(東京レポート・東京ビッグサイト行き) 下車すぐ

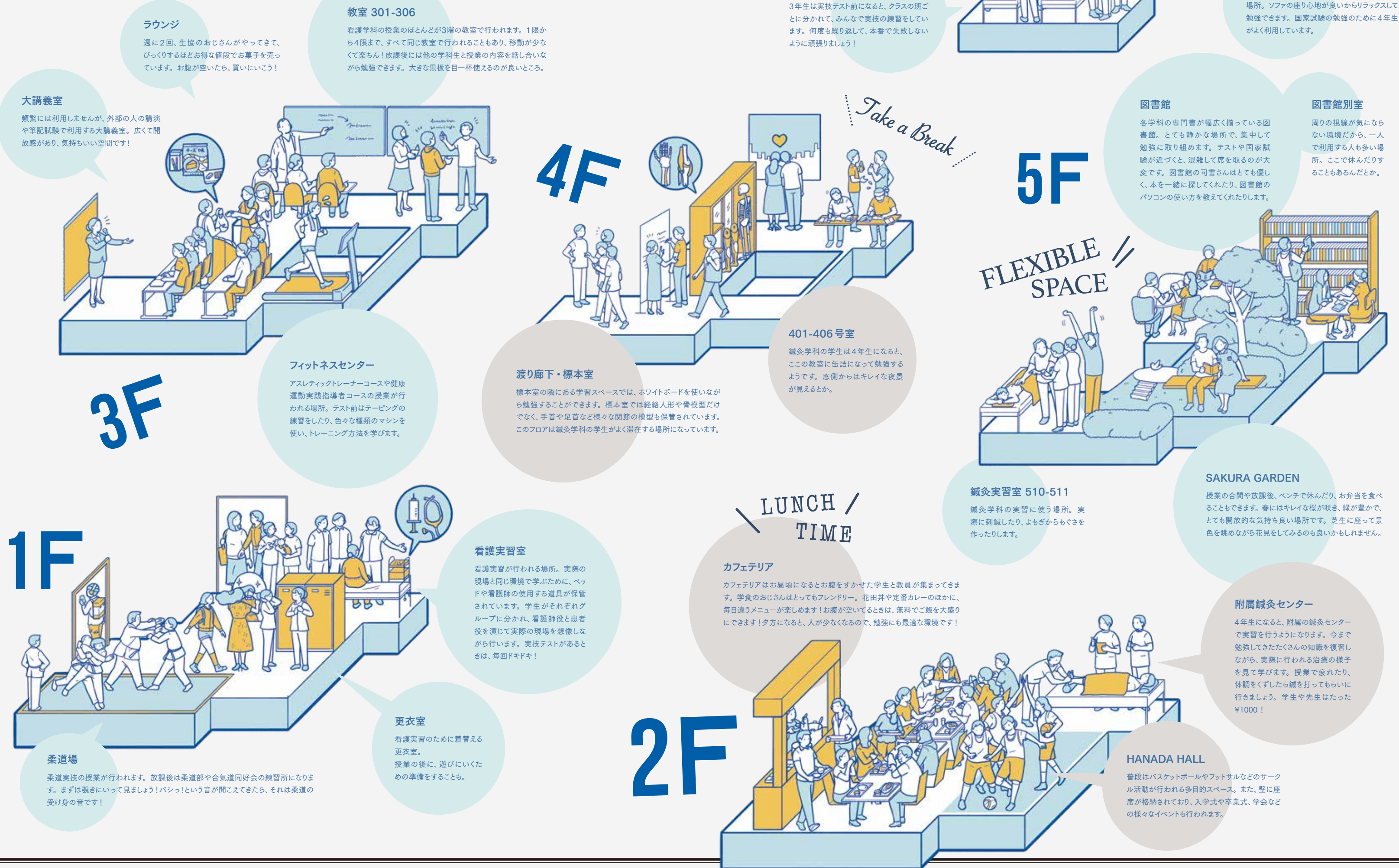


※駐車場はありません。公共交通機関を利用してください。

CAMPUS FLOOR MAP



多彩な学びに対応する最新の設備を備えた学習施設やありある時間提供する憩いの空間が充実。
そんなTAUキャンパスの話題のスポットを大公開します!!



東洋と西洋の医療を学び、時代に合った医療のあり方を考える。

本学科では、東洋医学の専門的な知識・技術だけでなく、現代医学の基礎的な知識も総合的に学びながら、これからの医療人に求められる幅広い知識やコミュニケーション能力を身につけることができます。また、授業や実習を通じて、鍼灸学に関する専門知識と治療技術を学ぶことができます。さらに、最新の研究に触れ、研究的思考能力を高めることで、鍼灸学の科学的解明に貢献できるようになります。

WHO（世界保健機構）はこんなに多くの効果を認めている！

一般的に、鍼灸治療は肩こり、腰痛、神経痛、関節炎などにのみ効果が有るように思われがちですが、WHO（世界保健機構）が鍼灸治療は以下の疾患に対しても効果があると認定しています。

- 運動器系疾患**
関節炎、リウマチ、肩こり、五十肩、腰痛、腱鞘炎、むちうち、捻挫など
- 神経系疾患**
頭痛、めまい、神経痛、自律神経失調症
- 消化器系疾患**
胃腸病（胃炎、消化不良、胃下垂、胃酸過多、下痢、便秘）、胆嚢炎、肝炎など
- 循環器系疾患**
動悸、低血圧症、高血圧症、息切れ、動脈硬化など
- 呼吸器系疾患**
気管支炎、喘息、風邪および予防
- 代謝内分泌系疾患**
痛風、貧血、糖尿病など
- 婦人科系疾患**
生理痛、月経不順、更年期障害、冷え性、膀胱炎、腎炎など
- 耳鼻咽喉科系疾患**
中耳炎、耳鳴、難聴、メニエル氏病、鼻出血、鼻炎、蓄膿（ちくのう）、咽喉頭炎など
- 小児科系疾患**
小児喘息、消化不良、夜尿症、食欲不審など
- 眼科系疾患**
眼精疲労、仮性近視、結膜炎、疲れ目、かすみ目、ものもらい

鍼灸治療はなぜ作用するのかということを科学的に明らかにするためのさまざまな基礎研究も行われており、これまでに、鍼による鎮痛メカニズムや血液循環（血行）改善のメカニズムなどが証明されてきています。しかし、まだまだ足りません。研究者がもっと増えることが期待されています。

人体の構造や機能を学び、日本の伝統医療を現代の医療に活かす。

骨折・脱臼・捻挫・打撲などの外傷を治療する柔道整復師は、日本発祥の柔術を起源として長い歴史を持っています。本学科では、柔道整復学を「理論」と「実践」から学び、「伝統と経験の技」を身につけることができます。さらに、接骨院や整形外科などでの研修を通じて、高度な臨床経験を重ねることができます。これによって、社会でも活躍する柔道整復師を目指すことができます。

歴史ある日本独自の伝統医療。自然治癒力を最大限に発揮させる。

日本古来の武術のひとつである「柔術」には、相手を殺傷する「殺法」と傷ついたひとを蘇生・治療する「活法」があります。殺法と活法は、発展変遷をとげ、現在「殺法」の技は競技柔道に継承され、活法は負傷者に施す治療法として「ほねつぎ」「接骨」として伝承され、「柔道整復術」となっています。柔道整復師は骨や関節、筋や腱、靱帯といった箇所が発生する骨折や脱臼、打撲、捻挫、挫傷などを手術をしないで治します。整復、固定などを行い、人間の持つ自然治癒力を最大限に発揮させるのです。

似てるようで違う、柔道整復師と整体師。

柔道整復と整体には、「整」という文字があるので、身体を整える似たような職種だと思われがちです。柔道整復師と整体師違いは主に2点あります。1つめは資格の種類が違う点です。前者は国家資格で、後者は民間資格です。2つめは、保険が適用されるかどうかです。柔道整復師は、整形外科治療の補完を行うことが許されていますので、治療行為に対して病院と同じく保険が適用されます。しかし整体師は、痛みを持って訪れたお客さんの患部への治療はできません。日本標準産業分類によると「その他の療術師」とあり、「温熱療法、光熱療法、電気療法、刺激療法などの医療類似行為を業とする者」とあります。治療行為ではなく医療類似行為と分類されるので、保険が適用されないのです。

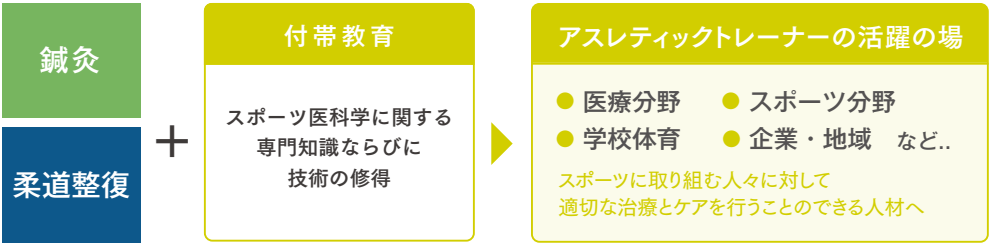
誰もが安心して健康増進を行えるように、適切なケアの出来る専門家が求められています。

アスレティックトレーナーコース 健康運動実践指導者コース

生活習慣病の予防としてスポーツをはじめの人が増えているように、現代はかつてないほど多くの人々が自分自身の健康を意識している時代だといえます。そのなかであって、ケガの予防や治療を行い、正しい知識を持って相談に応じられる専門家の存在は、社会的にも大きなニーズが発生しています。

国内で活躍しているアスレティックトレーナー（AT）の多くは医療系国家資格保持者です。

アスリートをサポートする現場では、医療行為を行える資格を持っていることは大きな強みとなります。そのためスポーツの現場で活躍している専門家の多くは、医療系の国家資格を保持しています。本学では鍼灸師・柔道整復師の資格取得を目指しながら、本コースを履修することにより、スポーツや健康増進という分野へも活躍の場を広げることができます。



INTERVIEW 01

患者さんと二人三脚で一生付き合っていく。

鍼灸師
健心堂はりきゅうマッサージ 勤務

東京都 関東第一高等学校 出身
〔2014年卒業〕

白倉 望 さん



INTERVIEW 02

とにかく勉強や研究に没頭した大学時代。そこには将来の仕事に直結する学びがありました。

柔道整復師
小山接骨院 勤務

東京都 文教大学付属高等学校 出身
〔2014年卒業〕

小森 大樹 さん



1番左が小森 大樹さん

INTERVIEW 03

心と身体に寄り添い、困ったときに頼れる存在になりたい。

アスレティックトレーナー・鍼灸師・柔道整復師
クボタスピアーズ 勤務 株式会社リニアート 所属

東京都 日本体育大学在原高等学校 出身
〔2013年卒業〕

櫛田 慎一 さん



INTERVIEW 04

様々な人と交流することで成長。多くのひとの支えになりたい。

看護師
東京大学医学部附属病院 勤務

神奈川県 百合丘高等学校 出身
〔2013年卒業〕

金丸 紘子 さん



Q なぜ、今の仕事を選んだのですか？

A 最近鍼灸接骨院が増えていますが、私は在学中から鍼灸一本で働こうと決めていたため今の治療院に就職しました。鍼灸治療を試した部分的にやってみる患者さんも多く、医療行為というよりはマッサージの一環として来る場合もあります。しかし、値段が安いという理由ではなく、技術があるという理由で患者さんが通ってくれる鍼灸師を目指しています。今の治療院で、鍼灸師としての技術をしっかりと身に付けたいです。

Q どのようなときに仕事のやりがいを感じますか？

A 患者さんの状態が良くなるのは嬉しいですね。例えば、膝の曲がらない患者さんが正座が出来るようになったときは、喜んでくれて、「ありがとう」と言ってくれたのを覚えています。他にも、一生懸命処置に励んでいる方にお子様が生れた事を聞くと、仕事のやりがいを感じます。ただ、治らないと来なくなってしまう患者さんもいます。多くの場合、鍼灸治療に大切なのは体質改善なので、ご自宅でも体を温めるなどの行為を習慣化するようにお伝えしています。

Q 今後はどのような鍼灸師を目指しますか？

A 将来的には開業したいと考えています。鍼灸院を運営するには、地元のひとの口コミがとても大事なのですが、そのために、地元の方々との関係を日々の治療によって深めていきたいと考えています。また自分が女性という点もあり、処置など女性独特の悩みなどの解決に力を入れたいです。将来自分の鍼灸院で、女性による女性のための鍼灸を追求しようと考えています。

Q 白倉さんにとって、鍼灸とはなんですか？

A 在学中、鍼灸は患者さんの症状を治す一方的な行為だと思っていました。西洋医学では、病院でお医者さんが薬を出して患者さんの病気を治しますよね。そのようなものだと考えていました。しかし、学び始めてその考えは大きく変わりました。今は、鍼灸は患者さんと一緒になって症状を治すものだと考えています。患者さんと共に健康意識を高められる。継続して一緒に続けていきたいと治りが遅くなるんです。

Q なぜ今の仕事を選んだのですか？

A TAUで実技の講師をされている佐奈木先生の治療や医療の考え方を勉強したいと思い、今の就職先を選びました。ケガをされた患者さんの不安を目の当たりにし、医療とは、ただ治療をするだけでなく、心も含めてケアしていかなければいけないことを痛感しています。

Q 東京有明医療大学に入学した理由を教えてください。

A 高校3年生のときに担任の先生に教えていただき、授業と実習から専門知識を身につけられるところに加え4年生で研究ができることに惹かれて入学を決意しました。入学前は授業についていけるか不安でしたが先生方の授業はわかりやすく、とても充実した学生生活を送ることができました。

Q 今後はどのような柔道整復師を目指しますか？

A 患者さんの多くは心に不安を抱えています。特に高齢者の方は、怪我をされると「もう今まで通りに歩けなくなるのではないか」と思われる方の中にはいらっしゃると思います。ケガを治すだけではなく、治療を重ねるなかで心の不安もケアできる柔道整復師を目指していきたいです。

Q アスレティックトレーナー（AT）になったきっかけを教えてください。

A 選手の傍で働きたい、という気持ちが大きくATという職業に惹かれました。学生時代から治療院に通っていたこともあり、患者の立場からATという職業に価値を見出したことにも大きな理由です。最初は鍼灸を学びたいと思い専門学校のオープンキャンパスに行きましたが、そこで花田学園が大学を設立すると知り、4年掛けてしっかりと鍼灸を学びたいという思いがあり、TAUに進学を決めました。

Q ATとしてどんなお仕事をされていますか？

A 一言で言うと、選手のコンディショニング管理です。例えば選手にテーピングを巻いたり、故障や症状のある選手の治療をしたり、グラウンドレベルで怪我が起きたときの対応をします。また、クラブハウスに戻って、身体の不調を訴える選手に対し、鍼治療も行い、試合に向けてのパフォーマンス向上のサポートをしています。

Q 印象に残っている学生時代の講義は何ですか？

A 普段の授業でもATコースの講義においても、講師の先生方が豊富で様々な分野の実技を時間を掛けて行えたことが印象的です。実技のテスト前はベアの間級生とよく練習しましたが、基本的には講義を真剣に聞いて実技に取り組んでいました。1年生時の最初の実技では、単純にやりたかったことを学んでいるという感覚が嬉しく、本当に楽しかったです。卒業してから講義に参加したくなるほど、充実したカリキュラムでした。

Q 現在の職業の魅力を教えてください。

A 選手が治療によって痛みがラクになったという声を聞いたとき、ケガから復帰した選手が試合で活躍する姿を見たときは、自分のことのように嬉しくまた誇らしく感じます。これからも選手が本当に困ったときに頼れるATとして、信頼を獲得できるよう尽力していきたいです。

Q 看護師になったきっかけを教えてください。

A 看護師になりたいという思いが決意に変わったのは、同じく看護師だった憧れの母が病気になり闘病生活を送っていたときです。看護師だった母の様に病気で苦しむ人の助けになりたいと強く思うようになりました。

Q 金丸さんにとって、看護師とはどんな仕事ですか？

A 東大病院の看護師として入院から処置、検査治療、退院までをサポートしています。業務に追われることもありますが、医師や看護スタッフ、メディカルスタッフとの連携を図りながら成長を実感できる毎日。看護の積み重ねが患者さんやご家族の笑顔につながったとき、大きなやりがいを感じます。現在の目標は、緩和ケアについて理解を深め、認定看護師となること。多くの苦痛や不安を抱えるがん患者さんの支えになりたいと考えています。

Q ご自身にとって「医療」とは何だと思いますか？

A 人がもつ生命力を引き出すものだと思います。その人らしく人生を過ごすために、病によって欠けてしまったものを医療のちからによって補い、引き出していただけるのだと感じています。